

新町建設計画等調査 特別委員会

一、調査事件

温泉宿泊施設等の今後のあり方について

二、調査経過

委員会は、平成20年2月から10回開催され、12月2日に本中間報告をまとめたものです。なお、調査に当たり各施設の指定管理者に参考人として出席願ひ、意見を述べていただきました。

出席いただいた参考人は、次の4人の方々です。

(株)北檜山観光振興公社

代表取締役 北川 泰弘

ホテル支配人 大清水 明

(財)貝取潤温泉公社

理事長 光錢 昌弘

山荘支配人 佐藤 政幸

三、調査結果（中間報告）

①温泉ホテルきたひやま

平成16年以降は、四期連続の赤字決算となり、経営改善に取り組んでいるが、成果は上がっていない現状にある。町と公社は新たな集客対策や、

これまで以上の経営努力と料金体系の見直しによる経営の改善を図り、同ホテルを観光拠点の中核とした整備とともに、指定管理料も視野に入れ存続しなければならぬ努力が必要と判断する。

②国民宿舎あわび山荘

本指定管理期間の終了する平成22年度までに経営の状況や、施設修繕等に関する検討を行い、今後の方向を定めることとし、町は指定管理料に

より支援すべきと判断する。その間、赤字経営とあわせて築30余年の本施設は、老朽化が著しいため膨大な修繕経費が発生した場合、再度検討協議が必要と思われる。

なお、経営は抜本的な改善が必要であり、施設面においても保養センターを含めたなかで、検討されることが望ましい。

※中間報告は、要約しています。

臨時議会 第4回

12月17日 開会

次の議案を審議し、原案のとおり可決しました。

◎温泉宿泊施設条例の一部を改正する条例

温泉ホテルきたひやまの宿泊料金体系を変更することから、宿泊施設使用料の上限額を改正するものです。

議会の動き

◆ 10 月 ◆

- 2日 第12回新町建設計画等調査特別委員会
- 3日 地域振興意見交換会（江差町）
- 6日 サケの上る森づくり記念植樹祭（北檜山区）
- 7日 第13回新町建設計画等調査特別委員会
- 9日 高齢者と子供の集い（瀬棚区）
- 10日 第9回議会運営委員会
- 20日 議会全員協議会、厚生文教常任委員会
産業建設常任委員会、第10回議会運営委員会
- 22日 第14回新町建設計画等調査特別委員会
- 29日 第3回議会臨時会
第15回新町建設計画等調査特別委員会

◆ 11 月 ◆

- 7日 第5回広報発行特別委員会
- 10日 第5回厚生文教常任委員会11日まで
- 12日 第5回総務財政常任委員会
- 13日 北渡島檜山生活交通確保対策協議会（北檜山区）
- 14日 第16回新町建設計画等調査特別委員会
- 19日 第52回町村議会議長全国大会（東京都）20日まで
- 21日 第4回産業建設常任委員会

◆ 12 月 ◆

- 2日 第17回新町建設計画等調査特別委員会
- 8日 第11回議会運営委員会
- 11日 第4回議会定例会12日まで
- 17日 第18回新町建設計画等調査特別委員会
第4回議会臨時会
第2回議会活性化調査特別委員会
- 18日 渡島半島横断道路建設促進要望（函館市）
- 22日 北部松山衛生センター組合議会定例会
- 25日 第3回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）

編集後記

2月の暦をめくると思い出すことがあります。

ある青年の体験から

一度、受験に敗れ、やけになって生活があった。周囲は失望した。

だが、母は世界中が見放しても私だけは信じてやりたいと折りながら肩をふるわせていた。母の後ろ姿を見て、彼は立ち上がった。

受験生を抱える家庭、就職してわが家を巣立つ子ども……。親として、心配や気苦労が最も重なる季節を迎える。

こんな時だからこそ、わが子を強く信じ、抱き締めるように励まし、成長を祈っていききたい。『子供を信ずる親は、親を信ずる子供を育てて行く』といった人がいる。親を信ずる子どもこそが、人を信じ、人に尽くす立派な大樹に成長すると私は信じている。

議会広報発行特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 熊野 主税 |
| 副委員長 | 澤田 光子 |
| 委員 | 本多 浩 |
| 〃 | 大野 一男 |
| 〃 | 内田 尊之 |
| 〃 | 大口 義孝 |